



## 大事な入札前夜、なんと大怪我

[あとで読む](#)

【尊厳ある介護（51）】素人のわたしが福祉の世界に飛び込んで（中）

公開日：2018/07/10 (未分類)

里村 佳子（社会福祉法人呉ハレルヤ会呉  
ベタニアホーム統括施設長）

2005年施設長と大学院生を両立する決断をした私が直ぐに取りかかったのは、スタッフの求人でした。



画・みふねたかし氏

半分以上スタッフが辞めてしまっていたので、私は沈みかけた船に乗ってしまった船長のような気分でした。出港したからには陸には戻れないと自分に言い聞かせました。

そして、残ったスタッフとともに新たなスタッフの採用を始めました。

今のような求人難であれば沈没したかもしれませんが、当時はまだ介護スタッフの求人を出すと応募はあったのです。現場のサービスに支障がないよう派遣のスタッフを利用しながら、慎重にスタッフの採用をしました。

大学院には水曜日から金曜日の午前までいて、金曜日の夕方から週明けの火曜日までの5日間施設長として働きました。東京までの新幹線の往復車中が唯一の休息の場であり、大学院の課題作成の時間でした。

私が東京にいる間は、留守の施設を今は亡き伊藤理事が守って、私の学びを応援してくれました。

ところが、大学院の講義は乳飲み子が離乳食なしに固形食を食べるようなものだったのです。

英語のレポートを読んで次の週に発表するように言われた時は、頭が真っ白になりました。私の能力では発表どころか英語を訳すことさえおぼつかなかったのです。

すると、困った私に学友が英語の翻訳ソフトの使い方を教えてくれたのです。それで大意を掴み、発表することができました。

そして、何より修士論文を担当してくださった大村教授（当時）が私の立場を理解して、出席できない講義など手厚くフォローしてくれたのです。

そんな教授陣や学友、理事長やスタッフの支えで大学院を1年で卒業することができたのです。

ところが、大学院を卒業してほっとしたのも束の間、佐藤理事長が「これからの福祉には経営の知識が必要」と、言った通りのことが起きたのです。

呉市が介護施設の公募をしたのです。

丁度私たちはケアハウスの入居者のために、要介護になっても安心して暮らせる施設を近場に創りたいと願っていました。

ケアハウスは身の周りのことが自分でできる人が対象の施設ですが、認知症になる人がいてさまざまな問題が発生していたからです。

そこで、私たちは小規模多機能居宅介護とグループホームの公募に応募することにしました。

公募なので事業計画書が必須です。そこで私が大学院で学んだ知識がこんなに早く役立ったのです。その結果、両方とも1位指名をいただき念願の新施設が2007年に開設したのです。

しかし、施設がオープンするまですべてが順調に運んだわけではありません。

私は、生涯忘れられないであろう失敗をしたのです。

それは、建築業者を決める入札の前夜、夜中に家で目が覚めると体が宙に浮いて、階段の一番上から落下したことです。

すぐに救急車で運ばれ、頭部打撲、左肩と肘の粉碎骨折と診断を受けました。当然入札には立ち会えず、周りの人に大変な迷惑をかけたのです。

実は、施設長に就任して初めて施設建築のため補助金の手続きをしましたが、補助金の内示が予定日になっても下りなかったのです。内示がないと入札はできず、工事に取りかかれないのです。

そうすると工期が遅れその結果補助金は貰えなくなると、私は思い悩み自分を追い詰めていったのです。

そして、やっと補助金内示が下りて入札だとほっとして床についたところ、階段から落下したのです。

生まれて初めての手術と3週間もの入院を余儀なくされました。

その上、手術前に医師に呼ばれ「あなたの血液は凝固しにくいのです。この度の手術は行いますが、退院したらすぐに血液内科のある病院に受診してください」と、言われたのです。

その時の私は大事な入札に穴をあけ自責の念に駆られていました。さらに、左腕の激痛と手術への不安を抱えながらトイレにも行けず寝たきりになっていたのです。

続報リクエスト

マイリストに追加

以下の記事がお勧めです

- > [里村 佳子氏のバックナンバー](#)
- > [AMEXITが止まらない——トランプは歴史の必然か偶然か](#)
- > [「南北融和」に染まりきった韓国](#)
- > [オウムは再来しかねない 戦後日本の反映だから](#)
- > [学校がつまらないと言い出したら、孫塾を始めませんか](#)

プロフィール

最近の投稿



## 里村 佳子( 社会福祉法人呉ハレルヤ会呉ベタニアホーム統括施設長 )

法政大学大学院イノベーションマネジメント（MBA）卒業、広島国際大学臨床教授、前法政大学大学院客員教授、広島県認知症介護指導者、広島県精神医療審査会委員、呉市介護認定審査会委員。ケアハウス、デイサービス、サービス付高齢者住宅、小規模多機能ホーム、グループホーム、居宅介護事業所などの複数施設の担当理事。2017年10月に東京都杉並区の荻窪で訪問看護ステーション「ユアネーム」を開設。

いいね! 0

シェア 0

ツイート

G+

LINEで送る

[この記事編集](#)

ソクラとは

[FAQ](#)

編集長プロフィール

[利用規約](#)

利用案内

[プライバシーポリシー](#)

著作権について

[特定商取引法に基づく表示](#)

メーカーソクラ

[お問い合わせ](#)

お知らせ一覧

[コラムニストプロフィール](#)

Copyright © News Socra, Ltd. All rights reserved